都立光丘 高等学校 令和7年度（２学年用)教科　　芸術　　科目　　音楽Ⅱ

教　科：芸術科　　科　目：音楽科　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　組～　6 組

使用教科書：（ MOUSA2　　）

教科　芸術科　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さを深くあじわったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。また、音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素などの関連を知覚し、資格したことと感受したこととのかかわりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりし	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【歌唱】 「ハナミズキ」、「上を向いて歩こう」、等 ・色々な曲に触れ、歌う姿勢を作る。また、自分の声に興味を持ち自分の声を生かした歌い方を身につけさせる。	・歌う姿勢を取らせ、発声練習からしっかり声を出させる。また、自分の声を把握させる。メロディーの音取り、歌詞を理解させ、味わいながら歌う。	【知識・技能】歌詞の意味を理解し歌唱できる。 【思考・判断・表現】フレーズに合ったブレス、言語、強弱を付けて歌唱することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	【鑑賞】 「ハナミズキ」。、「ミュージカル」、「オペラ」の鑑賞	・イタリア語の読み方、歌い方、ビブラートの仕方などを学ぶ。「ハナミズキ」の歌詞を理解し、歌詞に込められた意味を読み取る。・「ハイスクールミュージカル1」を鑑賞し音楽と劇のつながりを学ぶ。	【知識・技能】「ハナミズキ」、「オペラ」について理解している。音楽と劇のかかわり方を理解できている。歌詞を理解し表現できている。 【思考・判断・表現】イタリア語の発音、楽語の意味を理解し表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	【楽典】 階名、音符、楽語等基礎的な内容の学び	・一年時の復習。階名、音符の種類、拍数、拍子、楽語等基礎的な楽譜を読むのに必要な知識を学ぶ。	【知識・技能】楽典の内容を理解している。 【思考・判断・表現】内容を理解し試験で良い点がとれる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2学期	【ギター】ギターの基礎的な知識、アルペジオの奏法を身につけ、弾き語りができるようにする。	弦のチューニングなどギターの基礎知識を理解する。アルペジオ奏法について学び自身でギターを歌いながら演奏できるようにする。	【知識】　ギターのチューニングや奏法について理解している。 【技能】　アルペジオ、コード弾き両方演奏できる。 【態度】　歌とギター、弾き語りを主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	【合唱曲】既存の合唱曲に取り組み、ほかの声部とのかかわりを聴きながら歌う。	各パートの声部のメロディーを覚え歌えるようにする他声部との聴きながら曲を仕上げていく。	【知識】　パートのメロディーを階名唱で歌え、楽語を理解できる。 【技能】　自分のパートを正しく歌えている。また、他声部を聴くことができる。 【態度】　主体的に活動を取り組もうとしている。	○	○	○	13
3学期	【自由発表】グループで取り組む曲を決め、その曲の完成に向けてグループで協力する。	各グループの決めた曲に取り組み、楽譜を読み解きながら正しく演奏できるようにする。発表をお互いに聞きながら良いところを共有する。	【知識】　グループごとの曲の楽譜を読み解くことができる。 【技能】　自分のパートを正しく演奏することができる。全体としてもできる。 【態度】　主体的に活動を取り組もうとしている。	○	○	○	20
							合計 70